

日本学術振興会特別研究員-RPD 申請書チェックリスト

—例年、誤記の多い箇所をリスト化しています。

当チェックリストでセルフチェックを行ってから、庶務係に申請書を提出してください！—

チェック箇所	チェック内容	チェック✓
全P 右下 申請者登録名 全P 文字サイズ 申請書情報	氏名の入力漏れが無い 10ポイント以上で作成している 「1.平成〇(西暦YYYY)年〇月」と和暦・西暦を併記している。	
P1 版数	最新の版数になっている。 ※すでに申請書を「確認完了・提出」し、「OK」ボタンを押している場合は、申請管理画面下部 「申請書の確認」から申請書を印刷してください。(未提出であれば第0版) 電子申請システムにアップロードした書類の版数と印刷した書類の版数が合っていないと、 受け付けることができません。	
8 ローマ字表記	名字(大文字)・氏名(小文字)の順で記載している。	
12 学歴	「1.平成〇(西暦YYYY)年〇月」と和暦・西暦を併記している。 課程名・専攻名に注意して正式名称を記載している。 例) 「大阪大学 文学部 人文学科 卒」 「大阪大学 大学院博士前期課程 入学(文学研究科 文化表現論専攻) 修了見込」 「大阪大学 大学院博士前期課程 入学(文学研究科 文化形態論専攻) 修了見込」 「大阪大学 大学院修士課程 入学(文学研究科 文化動態論専攻) 修了見込」	
別紙(該当者のみ)	すでに記載済の履歴を含めてすべて入力している。	
P10 (5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応	該当しない場合は「該当なし」と記載している。 ※研究倫理審査が必要な研究以外にも、図書館や大学所蔵の古資料を扱う場合は機関ごとのルールへの 配慮が必要であったり、資料に個人情報が含まれていればプライバシーへの配慮が必要であったりします。 その場合は該当しますので注意してください。	
P11 4. 研究業績	(1)～(6)まで該当の無い項目についても省略せず、項目名を記載している。 通し番号を付している。 ※通し番号は、項目ごとでも、全項目を通してでもかまいません。 申請者本人の氏名にアンダーラインを付している。 発表者氏名の前に〇印を付している。 (1)については査読の有無を記載している。 (3)(4)については口頭発表/ポスター発表の別、査読の有無を記載している。 例) (1)学術雑誌等に発表した論文、著書 (査読あり) ①阪大 花子・大学 好子・大阪 太郎「大阪大学の歴史」、阪大NOW第80号、大阪大学、 pp20-25、2016年 (査読なし) ②大阪 太郎「大阪大学の80年史」、大阪大学プロフィール5巻、大阪大学、pp110-121、2017年 (2)学術雑誌又は商業誌における解説、総説 なし (3)国際会議における発表 (口頭発表、査読あり) ③〇Taro Osaka・Hanako Handai・Jiro Ichō “History of Osaka University”, Asia University Conference, Seoul University, March 2016 (4)国内学会・シンポジウム等における発表 (口頭発表、査読なし) ④〇Taro Osaka “OU Vision 2016”, the 51st meeting of Kansai Universities, Osaka University, May 2016 (5)特許等 なし (6)その他 ⑤大阪大学文学研究科賞(研究科内学業成績優秀者上位5名に授与)、2014年	
出力後	全12P(別紙がある場合は全13P)をA4用紙に両面印刷で、用紙左上をホチキス留めた	